

平成 25 年度

沖縄振興特別推進交付金

# 宜野湾市自然環境調査

## 報告書

平成 26 年 3 月

宜野湾市



平成 25 年度  
宜野湾市自然環境調査業務

目 次

第 1 章 業務概要	1-1
1-1 業務名称	1-1
1-2 業務目的	1-1
1-3 履行期間	1-1
1-4 業務工程	1-1
第 2 章 業務の内容	2-1
2-1 西普天間地区基地内・周辺調査	2-1
1) 資料整理等調査	2-1
2) 特殊地形等調査	2-1
3) 生態系調査	2-1
4) 水環境調査	2-1
2-2 普天間飛行場基地周辺調査	2-7
1) 湧水群水質監視調査	2-7
2) 気象観測調査	2-7
2-3 専門家ヒアリング	2-8
2-4 総括考察	2-8
第 3 章 調査結果	3-1
3-1 西普天間地区基地内・周辺調査	3-1
1) 資料整理等調査	3-1
2) 特殊地形等調査	3-5
3) 生態系調査	3-14
(1) 植生調査	3-14
(2) 保全上重要なエリアの推定	3-30
(3) その後、環境配慮すべき事項	3-34
4) 水環境調査	3-37
(1) 湧水群流量観測	3-37
(2) 河川水質調査	3-40
(3) 河川底質調査	3-45
3-2 普天間飛行場基地周辺調査	3-48
1) 湧水群水質監視調査	3-48

2) 気象観測調査 .....	3-66
3-3 専門家ヒアリング .....	3-71
<b>第 4 章 総括考察 .....</b>	<b>4-77</b>
4-1 西普天間地区基地内・周辺調査 .....	4-77
4-2 普天間飛行場基地周辺調査 .....	4-81
4-3 専門家ヒアリング .....	4-82
資料編 .....	巻末
写真集 .....	巻末

## 第 1 章 業務概要

### 1-1 業務名称

宜野湾市自然環境調査

### 1-2 業務目的

現在宜野湾市においては、平成 27 年返還予定の西普天間地区について跡地利用基本計画ならびに実施計画を早期に策定することが求められている。

普天間飛行場の円滑な跡地利用の推進方向を検討することを目的に実施している「宜野湾市自然環境調査業務」においても、西普天間地区をモデルケースとして、自然環境条件に賢く対応するための方策を検討し、上記計画策定に提言していくことは、目的を達成するためのより具体的な知見の蓄積に必要な取り組みであると考えられる。

よって、平成 25 年度自然環境調査は、西普天間地区の基地内・周辺において先行すべき調査及び普天間飛行場基地周辺の湧水監視調査等を実施し、跡地利用計画の策定に向けた自然環境情報の提供・共有化を進めることを目的とする。

### 1-3 履行期間

平成 25 年 10 月 23 日～平成 26 年 3 月 14 日

### 1-4 業務工程

業務工程を表 1-1 に示す。

表 1-1 業務工程

株式会社 沖縄環境分析センター  
 履行期間：平成25年10月23日～平成26年3月28日  
 調査場所：宜野湾市内一円  
 — 予定 — 実施済

業務種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
計画・準備	—	—	—	—	—	—	業務計画書作成、パス申請手続き等
資料整理等調査	—	—	—	—	—	—	既存資料の整理 関係者からの聞き取り
特殊地形等調査	—	—	—	—	—	—	基地内の特殊地形・湧水等の箇所(目視観察)
生態系調査 西普天間地区基 地内・周辺	—	—	—	—	—	—	基地内の植生に関する調査(目視観察)
	—	—	—	—	—	—	保全上重要な地形、植生等のエリアの推定
湧水群流量観測	—	—	—	—	—	—	流量の多い基地内の湧水1地点 流量の連続観測
河川水質調査	—	—	—	—	—	—	基地外からインジヤー吸込口と流出口の計3地 点で採水、1回調査
河川底質調査	—	—	—	—	—	—	基地外からインジヤー吸込口と流出口、チューナーガー の計3地点で採泥、1回調査
湧水群水質監視調 査 普天間飛行場基 地周辺	—	—	—	—	—	—	5地点(メンダカリヒージャーガー、アラナキガー、ヒャー カーガー、フルチンガー、チュンナガー) 2回調査
	—	—	—	—	—	—	市内1地点 気温・湿度・雨量の連続観測
専門家ヒアリング	—	—	—	—	—	—	学識経験者(5人程度)からヒアリング
総合考察・報告書作成	—	—	—	—	—	—	報告書30部、概要報告書40部
打合せ協議	—	—	—	—	—	—	3回以上